

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	僧帽弁置換術後遠隔期の人工弁周囲逆流に対する自己心膜による全周性弁輪修復術に関する臨床研究
研究責任者	聖隷浜松病院 心臓血管外科:奥木聡志
研究実施体制	当院のみ
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2020年1月31日
対象者	2002年4月から2019年12月までの間に当院において僧帽弁置換術後遠隔期の人工弁周囲逆流に対する自己心膜による全周性弁輪修復術を施行した方
研究の意義・目的	僧帽弁置換術後の人工弁周囲逆流は溶血性貧血や心不全を引き起こす重大な合併症です。当院では自己心膜を用いて全周性弁輪修復術を行い、再弁置換術を回避し、将来的な人工弁周囲逆流の再発予防にもなっていると考えられます。その成績、有効性について調査、研究を行います。
研究の方法	対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査を行う。 術前診断、手術術式、術後の生体データ、心エコー、CT、心臓カテーテル、血液検査、Xp、心電図など 収集した情報は匿名化して取り扱います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧ください。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 心臓血管外科 (氏名)奥木聡志 TEL:053-474-2222(代表) 心臓血管外科外来 9:00~17:00 平日